



胸いっぱい、秋。

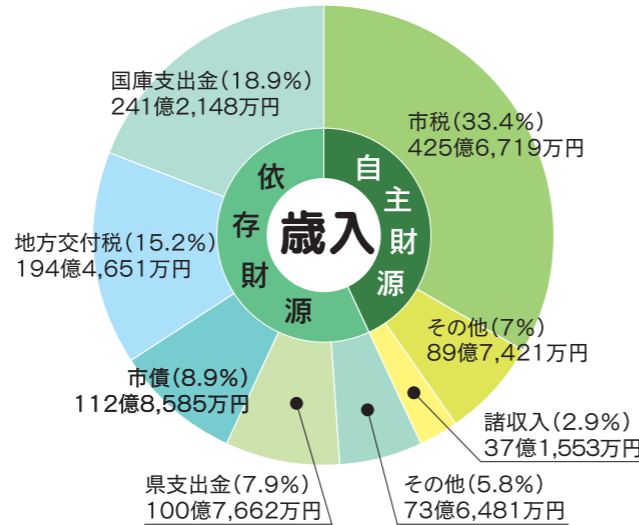
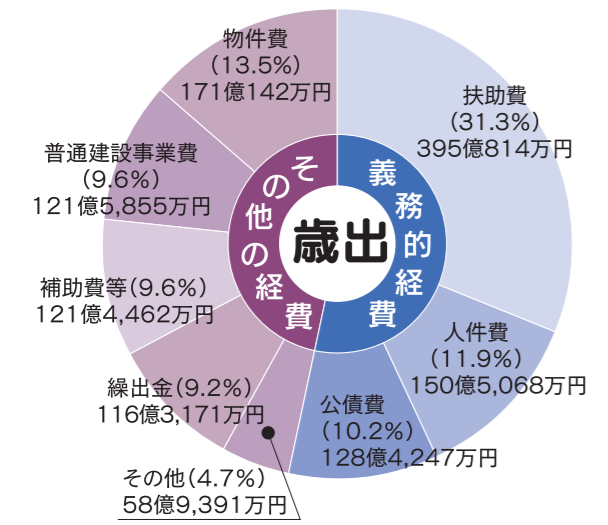
*** 平成30年度決算を報告**

- * 1月から全国のコンビニで住民票が取れる
- * 石橋文化センター アートフェスティバル
- * 九州オールレ秋フェア
- * じんげんの絆
- * 市政の動き+(プラス)

10月6日、久留米総合スポーツセンター補助競技場など市内11会場で、市民ラジオ体操の集いが開かれました。6時30分、同競技場に集まった約500人が、放送に合わせて大きく体を動かし、秋の涼しい空気を胸いっぱいに吸い込んでいました。

歳出 1263億3150万円

歳入 1275億5220万円



主な内訳

- ◎**義務的経費**＝支出が義務付けられ、節減が困難な経費
 - 【扶助費】医療費の援助や生活保護費、障害のある人への手当など
 - 【人件費】職員の給与など
 - 【公債費】市債の返済（元金・利子）
- ◎**その他の経費**
 - 【物件費】備品の購入や印刷費、光熱水費など
 - 【普通建設事業費】道路や学校などの建設費
 - 【補助費等】関連団体や各種団体への負担金や補助金など
 - 【繰出金】特別会計や企業会計に支出する経費
 - 【その他】維持補修費、積立金、貸付金、災害復旧費など

主な内訳

- ◎**自主財源**＝市が自主的に調達することができる収入
 - 【市税】市民税、固定資産税、軽自動車税など
 - 【その他】使用料・手数料、分担金・負担金、繰入金など
 - 【諸収入】貸付金の元利収入や収益事業からの収入など
- ◎**依存財源**＝国や県から交付または割り当てられる収入
 - 【国庫・県支出金】建設事業や生活保護などへの国・県からの収入
 - 【地方交付税】所得税などの国税の一部が交付される収入
 - 【市債】一度に大きな費用が必要となる建設事業などを実施するための長期的な借入金
 - 【その他】地方消費税交付金・自動車重量税と税など

平成30年度決算報告

前進。住みやすさ日本一へ

平成30年度の一般・特別・公営企業会計の決算議案は、9月25日から10月3日まで開かれた市議会決算審査特別委員会で認定されました。皆さんが納めた税金などをどう活用したかを知ってもらうために、30年度の決算状況と、主な取り組みをお知らせします。

一般会計

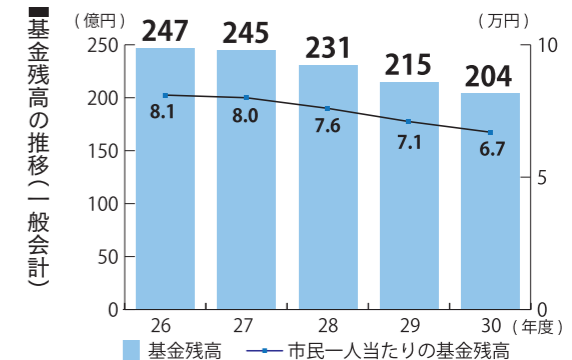
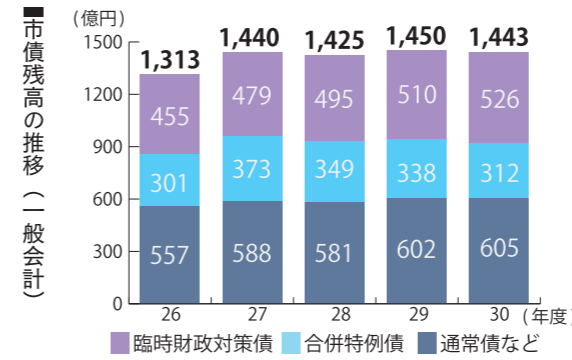
歳入・歳出ともに減
平成30年度は、「住みやすさ日本一」を目指し、「暮らし・教育のまちづくり」「安心・快適・都市力のまちづくり」「地方創生、経済成長・雇用のまちづくり」の三つのまちづくりに力を入れました。

一般会計の歳入総額は1,275億5,220万円で、前年度比で3.2%減少しました。歳出総額は1,263億3,150万円で3.3%減。歳入から歳出を差し引くと12億2,070万円となり、令和元年度への繰り越しを除いた実質収支は、8億2,300万円の黒字となりました。

基金・市債残高

家計の預貯金に当たる基金の残高は、年度末時点で約204億円。ふるさと留米応援寄付など特定目的の基金を取り崩したことなどで、昨年度から1億円減少しました。

一方、借金に当たる市債は約1,443億円。その一部は、地方交付税などで国が負担します。それを除いた「実質的な市債残高」は486億円と、昨年度より増加しました。



幅広い分野で着実に

30年度に行った主な事業

待機児童の解消

3億1,924万円
児童の受け入れ枠を拡大するため、施設整備を行う保育園に対する助成や、職員配置基準を超えて保育士を雇用する経費を助成しました。また、保育士を目指す人への進学支援や、離職を防ぐための保育所への巡回支援などに取り組みました。

学校教育にICTを活用

403万円
授業を効果的に進めるため、小・中学校などにタブレット・パソコン184台を配備しました。篠山小学校では、体育の授業で動画撮影・再生機能を使って跳び箱を跳ぶ動作を確認したり、テレビ電話機能を使って医療機関の院内学級に通う友達と交流したりしました。



西鉄久留米駅東口広場で行った放置自転車の撤去作業

認知症高齢者を支援

1,377万円
認知症の人やその家族が自宅で生活をする上での負担を軽くするため、認知症の人を被保険者とする個人賠償責任保険の保険料を市が負担する事業を行いました。

自転車の利用促進

4,462万円
「自転車が似合うまち」を目指し、誰でも気軽に自転車を利用できる環境づくりを進めました。また、放置自転車対策で、撤去や街頭指導・啓発に取り組みました。

将来の都市づくり構想を検討

2,091万円
コンパクトな拠点市街地づくりの方針策定のため、都市計画の見直しなどに取り組みました。

防災体制を充実・強化

5,505万円
避難所の表示板設置や防災無線未設置の福祉避難所などへの無線機整備を行いました。また、地域と連携した避難所の運営・管理体制の強化に取り組みました。



校区で開かれた避難所の運営訓練

久留米産農産物の販売力強化

1,728万円
久留米産農産物のPR動画をテレビ・CMなどで放送しま

地域企業を育成

1,749万円
全国的に優れた技術や製品を持つ企業をまとめた事例集を発行しました。また、首都圏への販路拡大を目指し、市内事業者の食品加工品を対象に、売れる商品作り支援を実施しました。

シテイプラザの運営費

8億9,014万円（人件費を含む）
有識者による「運営委員会」の設置などにより、上質で話題性のある公演の提供や、街なかのにぎわいづくりなどに取り組むとともに、より効果的・効率的な運営に努めました。収支は前年度より425万円改善しました。

MICEを誘致推進

1,882万円
国際的な会議や学会の他、ケニアに続き、カザフスタンの事前キャンプ誘致に取り組み、基本合意書調印式を行いました。

特別会計

国保事業の運営は県単位に

特別会計は、特定の事業を行うため、一般会計と分けて経理している会計です。国民健康保険事業や競輪事業など10の事業があります。

国民健康保険事業は、保険料の収納率向上対策に取り組み、昨年度を上回る収納率を確保しました。被保険者の健康維持と医療費適正化の観点での取り組み

みとして、進行すると心臓病や脳卒中など重大な病気につながる慢性腎臓病（CKD）の周知啓発を実施。さらに、特定健診の個人負担金を無料にして、受診率向上を図りました。なお、30年度から国保事業の県単位化がスタート。市と県との共同運営に移行しました。

競輪事業では、久留米競輪開設69周年記念の中野カップレースを開催。車券の売り上げ増に努め、1億5000万円を一般会計に繰り出しました。

介護保険事業は、保険給付に加え、介護予防の推進や地域包括支援センターの運営、認知症初期集中支援チームの運営、生活支援体制整備事業などに取り組みました。

◆◆◆
この他、詳しい財政状況などは、本庁舎1階行政資料コーナーや市ホームページなどで見ることが出来ます。

◎財政課（☎0942・30・9117、FAX0942・30・9703）

公営企業会計

二つの事業を実施

公営企業会計には水道事業と下水道事業があります。それぞれの決算状況と取り組み内容は次のとおりです。

安定した給水体制を確保

水道事業は収益46億1,504万円に対して費用が40億1,103万円。純利益6億4,011万円でした。古くなった配水管を更新したり、耐震性が高い配水管を新たに整備したりするなど、安定した給水体制づくりに取り組みました。

未普及地域へ下水管を敷設

下水道事業は収益65億6,613万円に対して、費用は62億8,689万円。純利益は2億7,924万円でした。下水道が普及していない地域への下水管敷設や、下水処理場、中継ポンプ場の耐震化に取り組みました。その他、29年度から取り組んでいた篠山排水ポンプ場の電気・機械設備の更新が完了しました。

◎上下水道部経理課（☎0942・30・8506、FAX0942・30・8570）

公営企業会計決算の状況

区分	金額	
水道事業	収益	46億1,504万円
	費用	40億1,103万円
下水道事業	収益	65億6,613万円
	費用	62億8,689万円



耐震化した中央浄化センター水処理施設第2プラント

監査公表

複雑化する行政制度 ミス防ぐ体制づくりを

監査委員は、平成30年度の久留米市の一般会計・特別会計、公営企業会計の決算と、財政健全化法に基づく健全化判断比率・資金不足比率の審査を行いました。結果をお知らせします。

決算審査はおおむね適正

各会計の決算が正確か、会計処理や予算執行が適正かなどを

審査しました。一部に修正すべき箇所があったり、根拠の正確性が確認できなかったりしたものがありました。なお、おおむね適正でした。主な意見や指摘は次の通りです。

【一般会計・特別会計】

◆寄付金をはじめ、さらなる自主財源を確保し、将来を見据えた上で必要な施策や事業に投資を行うなど、持続的な財政運営に努めること

◆基金については、災害を含めた緊急事態への対応を考慮しながら、効率的・効果的な運用に努めること

◆数値が高いほど独自の施策に使える資金が少ないことを示す経常収支比率（※1）は95・9%で、中核市平均と比較するとやや高い。引き続き税源の維持・確保につながる定住促進や企業誘致の推進、地場企業の育成支援などの施策に努めること。歳出面では、

内部管理経費の徹底した効率化、行政コストの縮減、事業の検証、選択と集中による最適化に努めること

◆行政制度が複雑・多様化し、職員業務負担が増加するなどリスクは高まっている。内部統制を推進し、ミスを防ぐ体制づくりに努めること

◆不用額（※2）発生の原因について積算の妥当性や事業内容および効果の測定など多面的な評価を行い、その結果を翌年度予算編成に反映し、財政効率の向上を図ること

【公営企業会計】

◆水道事業は、長期的視野に立って施設などの計画的な更新を行い、「久留米市企業局中期経営計画」の課題を検証しながら、経営の効率化に努めること。平成17年の合併以降の課題である北野地区については、水道事業の広域化に向けた国・県の動向を見なが

ら本市事業の能率的運営と基盤強化を念頭に方針を決定すること

◆下水道事業は、人口減少に伴う使用料の減少と、普及や老朽化対策のための費用増加により、運営は厳しさが増すと危惧される。下水道事業の広域化・共同化に向けた国・県の動向や、事業を取り巻く環境の変化を注視しながら、最適な汚水処理施設整備を行い、持続可能な事業運営に努めること

財政健全化法に基づき審査結果も適正に

健全化判断比率（※3）と資金不足比率（※4）は、審査の結果、適正に算定されていました。主な意見は次の通りです。

◆健全化判断比率の内、将来負担比率（※5）については、前年度より悪化しているが、法令に定める早期健全化基準を大幅に下回っており、健全と認められる

◆◆◆
監査や審査の結果は、本庁舎1階行政資料コーナー、市ホームページで公開しています。
◎監査委員事務局（☎0942・30・9232、FAX0942・30・9718）

専門用語を解説

※1 経常収支比率

市税などの経常的な収入が、人件費や扶助費といった固定的な支出にどれだけ使われているかを表す比率。

※2 不用額

歳出予算から執行額と翌年度繰越額を除いた残額。

※3 健全化判断比率

「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4指標のこと。いずれも高いほど良くないとされる。

※4 資金不足比率
公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する比率。公営企業単体の経営状況を示す。

※5 将来負担比率

将来支払っていく可能性のある負担の、現時点での残高を指標化した数値で、財政を圧迫する可能性を示す指標のこと。

来年1月からマイナンバーカードがあれば

全国のコンビニで 住民票が取れる

来年1月6日(月)から、久留米市の住民票の写しや印鑑登録証明書、所得証明書などが全国約4万5000店舗のコンビニエンスストアのマルチコピー機で取れるようになります。



マイナンバーカードをかざし、タッチパネルを操作するだけ

通勤や買い物をついでに

これまで、住民票の写しなどの証明書は、本庁舎や各総合支所、市民センターの窓口や本庁舎一階、西鉄久留米駅構内にある自動交付機で取ることができました。来年1月6日(月)からは、全国のコンビニで取れるようになります。市外に通勤している、市役所が開いている時間に行けなくても、土・日曜、祝日に取ることが出来ます。

コンビニで取れる証明書は、住民票の写し、印鑑登録証明書、所得証明書、戸籍全部(個人)事項証明書です。このサービスを利用するには、マイナンバーカードが必要です。全国のセブンイレブン、ローソンなど、マルチコピー機が設置されている店舗なら、どこでも取ることが出来ます。

コンビニ交付は、全国の自治体で一斉にスタートするサービスではありません。自治体によって実施の有無や取得できる証明書などが異なります。

マイナンバーカードが必要

平成28年1月から開始したマイナンバーは、外国人を含む日本国内の住民に指定・通知された12桁の番号で、一人ひとりに

コンビニで取れる証明書

証明書の種類	住民票の写し	印鑑登録証明書	所得証明書 課税・非課税	戸籍全部(個人) 事項証明書
利用条件	久留米市に 住民登録がある	久留米市に印鑑 登録をしている	久留米市に1月1日時点と、 現在も住民登録がある	本籍地が久留米市
手数料	200円			450円
利用時間	6時30分～23時			8時30分～17時15分

マイナンバーから個人情報漏れません

カードを無くしたり、落としたりしても情報は漏れません。カードのICチップには、税や年金などのプライバシー性の高い個人情報は入っていません。ICチップを使うときは暗証番号が必要で、数回間違えるとロックがかかります。

マイナンバー制度は、個人情報を1カ所に集めて管理する仕組みではありません。手続きを受け付ける職員だけが、手続きに必要な情報に限りアクセスすることが可能です。預貯金額や医療などのあらゆる情報を国が監視することはできません。

マイナンバーカードを持つと 待ち時間もありません

マイナンバー制度がスタートして3年がたちますが、久留米市のカードの取得率は8.1%で、国の13.5%や県の12%と比べると大幅に下回っています。住所を変更した後に、運転免許証の更新に行くときなどは、あらかじめ住民票の写しを取らないといけなかったのが、今後は必要なときにすぐ取ることができます。ぜひカードを作ることをお勧めします。



市民課でマイナンバーカードの交付を担当する泊奈生さん

申請方法ははこちら

スマートフォンで

- ①スマートフォンのカメラで顔写真を撮影
- ②交付申請書のQRコードを読み込み、申請用WEBサイトにアクセス
- ③画面に従って、必要事項を入力し顔写真を添付して送信

パソコンで

- ①デジタルカメラで顔写真を撮影し、パソコンに保存
- ②申請用WEBサイトにアクセス
- ③画面に従って、必要事項を入力し顔写真を添付して送信

郵便で

- ①交付申請書に署名または記名押印し、顔写真を貼付
- ②封筒に入れて郵便ポストへ

証明用写真機で

- ①タッチパネルから「個人番号カード申請」を選択し、撮影用のお金を入れて、交付申請書のQRコードをバーコードリーダーにかざす
- ②案内に従って、必要事項を入力し、顔写真を撮影して送信

申請後約2カ月で、市役所からはがきが届きます。受取日を予約して窓口で受け取ります。

通知カードが発行されました。マイナンバーカードは、顔写真入りのプラスチックの物で、公的な身分証明書や確定申告などさまざまな用途で使えます。カードを作るには申請が必要です。通知カードに付いている交付申請書で申請すると、約2カ月後に交付案内のはがきが届きます。受け取り日時を予約し、必要な書類を持って取りに行ってください。

や、住所や氏名が変わった場合などは、窓口で新たに受け取り、カードの申請をすることもできます。**自動交付機は12月で終了** 本庁舎一階と西鉄久留米駅構内にある自動交付機は、12月28日(日)で終了します。現在、使っているくるめ市民カードは、窓口で印鑑登録証明書を取得するときに必要なので、捨てないでください。無くなった場合は、再



度、印鑑登録が必要です。
◎市民課 ☎0942・30・9027、FAX 0942・30・9758

これまでのカードは市役所窓口で使えます

印鑑登録証

窓口で印鑑登録証明書を取るときに必要です。新規で発行はしていません



くるめ市民カード

窓口で印鑑登録証明書を取るときに必要です



住民基本台帳カード

公的な身分証明書として使えます。マイナンバーカードを申請する場合は、交付時に回収します



園内を見ながらイメージを膨らませる加藤さん



みてみてかいて けしけしけしき

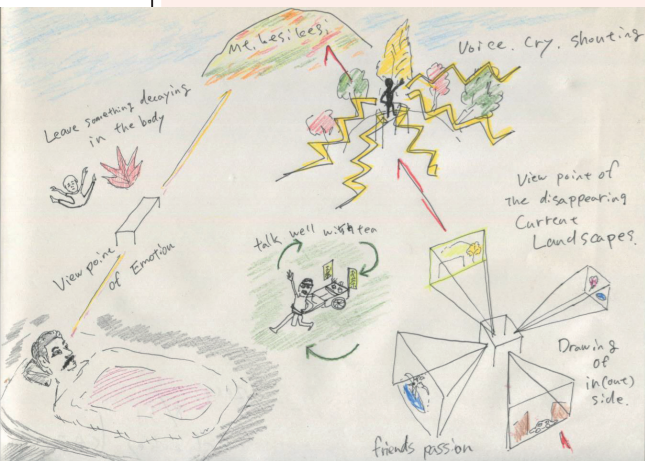
市民が誰でもアートを体験できるワークショップ

福岡市在住の美術家・加藤笑平さんによる企画。身近な自然の移ろいを意識してもらうため、各小屋を巡りながらみんなで一つの風景画を制作したり、葉っぱを集めて写真を撮ったり、加藤さんと一緒にお茶を飲みながらおしゃべりしたりと、園内でさまざまな体験を行います。久留米の多くの画家や起業家が思いをはせてきた筑後の風景とこの豊かな自然を改めて見つめることができる、パフォーマンス型ワークショップです。

ワークショップは申し込み不要

11月2日(土)3日(日)の各10時～16時に、ペリカン噴水周辺や睡蓮とバラの庭などで開催します。料金は無料、当日受け付けです。

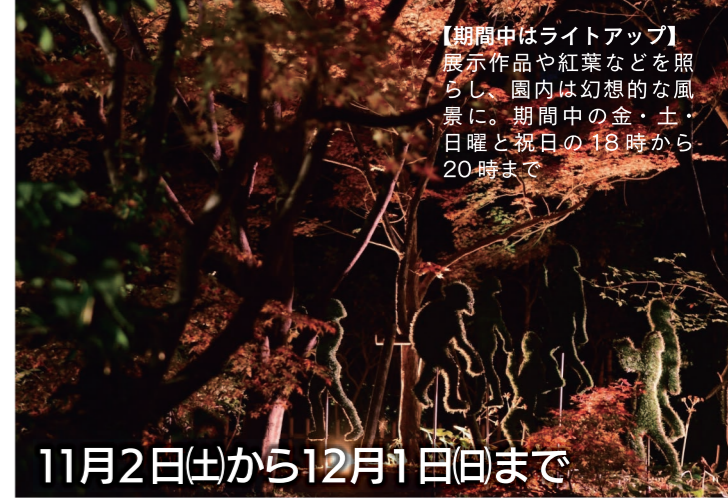
加藤さんが描いた今回のワークショップで作りに上げる空間のイメージ図



個性豊かな作品たちが文化センターを飾ります

石橋文化センター アートフェスティバル

園内がまるっと ミュージアムに



11月2日(土)から12月1日(日)まで

【期間中はライトアップ】
展示作品や紅葉などを照らし、園内は幻想的な風景に。期間中の金・土・日曜と祝日の18時から20時まで

創造の森美術館

子どもたちがアーティストと制作した作品を展示

筑後市在住の陶芸家・平井亮汰さんと市内の小学生、そしてボランティアの久留米大学美術部の学生や南筑高校美術部の生徒を加えた約35名が、いろんな分野のゲストアーティストとも交流しながら茶碗や彫刻などを制作。

子どもたちの自由な感性で制作した作品が、自然豊かな園内を包みます。

平井さんに細やかなアドバイスを受けながら制作を進めました



学生やゲストアーティストが子どもたちの作業をサポート

アート空間が出現する月間
アートフェスティバルは、平成28年の久留米市美術館開館を機に毎年秋に開催し、今年で4回目です。
「石橋文化センター全体をひとつのミュージアムに」をコンセプトに、子どもや学生、地元のアーティストが、園内の各所にさまざまなテーマのアート作品を展示します。夜には作品や紅葉をライトアップ。幻想的な芸術空間が出現します。また、期間中には、子どもから大人ま

同センターアーティストのページへ
詳しくはQRコード



で楽しめるワークショップを開催します。
さらに、園内では秋のバラフェアやもみじまつりなども同時開催。自然とアートに包まれた魅力いっぱいの石橋文化センターを満喫できる1カ月です。
◎石橋文化センター(☎0942・33・2271、FAX0942・39・7837)

逆襲のSAGA Wrap the ICC tech-tech

大学生が石橋文化センターで創作活動

アーティストを志す大学生が作品を披露。今年は、九州大学と九州産業大学、佐賀大学が参加します。
有明海にのみ生息する干潟生物・ワラスボが、アート作品になって石橋文化センター園内に出現する「逆襲のSAGA」。園内の木や橋、ベンチなどがくまかすりラッピングされ、いつも見慣れた景色が一転する「Wrap the ICC」。夜には、園内の豊かな自然に、光による空間的なアートを表現する「tech-tech」。多彩な芸術が展開します。



それぞれのプランを綿密に打ち合わせる学生

有明海の珍魚・ワラスボのオブジェを持ち込み、展示現場でシミュレーション



アートワークショップも同時開催

染め織りや書道、デザイン、デジタルアートなど、地元アーティストによるワークショップが、石橋文化会館で開かれます。
■開催日 11月2日(土)3日(日)4日(月)16日(土)17日(日)各10時30分～12時、13時30分～15時 ■対象小学生と保護者 ■定員15組程度・当日先着順。各開始時間までに石橋文化会館へ ■料金無料 ■申し込み不要





広い視点が新たな時代をつくる

平成元年、日本で初めての「福岡セクハラ訴訟」で原告女性を支援し、その後もDVや性暴力被害者への支援に携わっている久留米市男女平等政策審議会委員の甲木京子さんに「女性への暴力」について聞きました。

世界共通の問題

今から30年前、日本ではセクシュアル・ハラスメントやDVという言葉は知られていませんでした。広く言葉が知られ、取り組みが始まったのは、つい最近のことです。平成16年に「DV防止法」が制定。メディアで取り上げられるようになり、少しずつですが女性の人権についての理解が進んできました。

しかし、女性への暴力は、今でも世界中で起きています。紛争が起きている国や地域では、女性の誘拐や兵士との強制結婚なども頻繁に起きていて、女性というだけで被害を受けています。世界共通の問題でもあり、まだまだ解決から程遠い問題でもあるのです。日本も例外ではありません。

理解してくれる人を増やす

私たちの社会には、女性を自分の思いのままに支配したいとか、性的に利用しても構わない



昭和25（1950）年生まれ。福岡市在住

などジェンダー（※1）に基づく誤った認識を持った人が居ます。そういう人が加害行為を起こすのです。女性の意識や行動の問題ではありません。にも関わらず、被害者は何の落ち度もないのに「あの時、もっとこうしていれば」や「その場から逃げなかったのが悪い」などと自分を責めてしまいかちです。また、被害者がきっかけを作ったかのような周囲の誤解や偏見が、さらに被害者を傷つけています。被害を受けた人の多くは、落ち着いた生活を取り戻したい、仕事を続けたい、人間関係を維持したいなど、人間に基本的に与えられている安全に生活する権利を求めているだけです。被害者の気持ちや加害の構造について多くの人が理解することが、より安全な社会を作ることにつながります。

女性への暴力解決が第一歩

今では女性の被害だけではなく、男性やLGBTQ（※2）の人たちの性被害やDV被害にも注目が集まっています。新たな人権の視点や取り組みが必要な時代でもあるのです。しかし、これらの問題の根底にあるのも、性別による役割分担の意識の根深さや、女性への暴力を引き起こすジェンダー構造ではないかと思えます。まずは、女性への暴力の根絶に向けた動きを加速すること。その中で、私たち一人ひとりがさまざまな状況の人への配慮や、広い視点を持っていくことが重要です。

◎男女平等政策課
(☎0942・30・9044, FAX 0942・30・9703)

※1【ジェンダー】生物学的な性別（SEX）に対して、社会的・文化的につくられる性別のこと
※2【LGBTQ】レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニングなどの性的少数者のこと

紅葉に包まれて歩く高良山

九州オルレ秋フェア

パワースポット巡るコース

9月22日(日)の天草・苓北コースを皮切りに九州オルレ秋フェアがスタートしました。11月17日(日)には、紅葉が見頃を迎える久留米・高良山コースを開催します。今年で4回目を迎えます。オルレとは、韓国の方言で「家に帰る細い道」という意味です。そこから、派生して自然を楽しむながら歩くトレッキングコースの総称となりました。

久留米・高良山コースは、JR久留米大学前駅をスタートし、高良大社、王子池などを巡り、JR御井駅がゴールです。全長8.6kmで、所要時間は3〜4時間。一手に分かれた幹が途中で一つになる「愛のささんか」や、木立によってハート型に切り取られた景色が売りの「恋実る展望台」など、愛のパワースポットが人気です。

ポイントでもてなしを

ポイント地点でオリジナルのリストバンドを見せると、ス

イツなどを味わえます。同日に、高良山中腹にある旧宮司邸広場で「宝の山高良山もみじ狩り」が開催されます。

申込開始は10月28日

■日時 11月17日(日) 9時30分〜
■定員 300人・先着順 ■料金 1000円。当日会場で支払い
■申込期間 10月28日(日) 9時〜11月11日(月) ■申込方法 住所、氏名、電話番号を電話、ファクス、

メールで連絡
◎九州オルレ「久留米・高良山コース」推進協議会（観光・国際課内、☎0942・30・9137、FAX 0942・30・9707、✉kankoo@city.kurume.tukuoka.jp）



九州オルレ久留米・高良山コースへ 詳しくは QRコード



上段の青矢印がゴールの方向を意味します



注目スポットの情報をたくさん紹介しています



赤や黄色に染まる木々は魅力的です

市民大感謝祭 市場まつり

マグロの解体を間近で

年に一度の大開放

中央卸売市場は、筑後一円から集まった新鮮な野菜や魚などを、市民の皆さんに安定的に供給しています。

久留米市制施行130周年を記念して、消費者の皆さんに日ごろの感謝を伝えたり、市場の役割を知ってもらったりするために、普段はなかなか入れない場内を開放します。

本番さながらの競りを体験

本マグロの解体・即売や、青果・魚介類の販売、魚介類のオブジェ展示をはじめ、水産部・青果部で模擬競りなどのイベントが行われます。

他にも、地元農産物を使った食べ物の販売や、海鮮丼やマグロのステーキなどの試食や販売もあります。

■日時 11月3日(祝) 8時〜13時
■内容【販売開始】8時20分〜
【本マグロの解体・即売】9時30分〜
【競り】青果部11時〜、水産部12時〜



本マグロの解体ショーは迫力満点

市場まつりの開催日には、市場内やJAくるめ本店に臨時駐車場を準備しますが、駐車できる台数に限りがあります。なるべく公共交通機関を利用してください。

◎中央卸売市場 ☎0942・33・4430、FAX 0942・38・0647



市ホームページへ 詳しくは QRコード

味や製法の説明も受けながら注いでもらいます



地酒に酔いしれ ご満悦
筑後 SAKE フェスタ

10月5日、6日に久留米シティプラザ六角堂広場で、筑後地域の19蔵元が一堂に集結した筑後SAKEフェスタが開かれました。会場は、チケットを片手に、ほろ酔い気分の参加者6000人で埋め尽くされました。同僚と参加した菊池義明さん（大石町）は、「毎攻城島の酒蔵びらきにも行きませんが、ここでは城島以外の地酒も一度に楽しめるのがいいですね。コップに少し多めに注いでくれる蔵元さんの心遣いがあります」と顔をほころばせました。

子ども運転士は大興奮
運転シミュレーター体験



実際に研修で使われている機器を使って体験しました

10月14日の「鉄道の日」にちなんで、10月6日に西日本鉄道電車教習所で列車運転士教育用のシミュレーターを体験できる催しが行われました。25組の子どもたちが運転士になりきって発進、停車などの運転操作や、車内アナウンスやドアの開閉を行いました。参加した池田菜向さん（南薫小1年）は「列車を動かす体験ができて、とても楽しかったです。将来は運転士になりたいです」と話しました。

HIROTSU バイオサイエンス
線虫でがん検査
実用化に向け協力



10月1日、本庁舎で行われた記者会見の会場では、モニターに映し出した線虫の動きが披露されました



記者会見で握手をする広津社長（中央左）と大久保市長（中央右）、共同で試験に協力する小都市の加地良光市長（左）、初田寿福岡県商工部次長

実用化は来年1月
九州大学発のベンチャー企業「HIROTSU バイオサイエンス」は、線虫を使ったがん検査を開発。来年1月の実用化に向け、一連の流れを確認し、課題の洗い出しと自動解析装置の運用試験を行います。久留米市はこれまでも同社を支援。今回は職員1000人分の尿を提供し、装置の運用試験に協力します。

安価で高精度な検査方法

開発されたのは「N1-NOISE」という、体長1mm程度の線虫の嗅覚を使った検査法です。がん患者の尿の臭いに反応して近づいていく習性を利用し、胃がんや肺がん、乳がんなど15種類のがんのリスクを調べることができま

す。これまでに行った検査では85%的中率。1滴の尿で検査できる簡易性と、1回9800円と安価な費用が特徴です。来年から年間最大25万人分の解析をできるように準備を進めています。

がん検診受診率の向上へ

市は福岡県と共同で進めてきた「福岡バイオバレープロ

性別にとらわれず
活躍の団体を表彰

10月4日、個性や能力を発揮できる社会づくりに寄与した人や団体を表彰する「男女共同参画社会づくり表彰式」が開かれました。1回目の今年は「市消防団有馬火消しはしご隊」と「津福校区まちづくり協議会」が受賞。同協議会の角栄子会長は「人材育成に力を注ぎたい」と語りました。

◎男女平等政策課（☎0942・30・9044、FAX 0942・30・9703）

市ホームページ
男女共同参画社会づくり表彰へ
詳しくはQRコード



受賞した2団体の皆さん

「シエクト」で、30年度から、自動解析装置の開発や実証実験などに対して支援を行ってききました。

広津崇亮社長は「がん検診の受診率向上には画期的な方法が必要だと思ってきました。早期発見のために重要な第1次のふるい分け検査を、安価・高精度で実現できました」と話しました。

大久保勉市長は「尿1滴でできることに価値がある。仕事や子育てなどで時間が無い人も受診しやすくなるので、実用化に向けてしっかり支援していきたい」と期待を込めました。

◎新産業創出支援課（☎0942・30・9136、FAX 0942・30・9707）

検査の仕組みや優位性などを説明する広津社長



大雨被害を支援
補正予算に15億円



水に漬かった農作物（善導寺町）

7・8月の記録的な大雨被害を受け、久留米市は9月市議会と10月の臨時会で、計15億円の一般会計補正予算を計上しました。野菜や花など農作物の被害額は8億円、ハウスなど施設の被害額は3億円にも及びました。河川や道路の復旧、農業用機械などの修繕や買い替え、種苗などの購入費の一部を助成します。

◎財政課（☎0942・30・9117、FAX 0942・30・9703）

市ホームページ
令和元年度補正
予算へ
詳しくはQRコード



城島図書館

☎ 62・1777、FAX 62・4466

スタンプラリー

■10月22日(祝)～12月22日(日)10時～18時 ■内容本の貸し出し時にスタンプを押印。数に応じて雑誌の付録などをプレゼント ■料金無料

赤ちゃんお話し会

■10月23日(火)11時～11時30分 ■対象乳幼児と保護者 ■内容絵本の読み聞かせ、童歌など ■料金無料 ■定員10組・当日先着順

城島総合文化センター

☎ 62・2110、FAX 62・4466
 ✉ j-bunka@city.kurume.fukuoka.jp

出張音楽タイム

■11月10日(日)12時40分～ ■城島総合支所前駐車場 ■内容大正琴、電子ピアノの演奏 ■料金無料 ■申し込み不要

写真で

スクラップブック作り

■11月29日(金)13時30分～15時 ■料金500円 ■定員15人・抽選 ■申込締切11月8日(金) ■申込方法住所、氏名、年齢、連絡先を連絡

城島げんきかん

☎ 62・2122、FAX 62・2148
 https://ssk-joujima-com.ssl-xserver.jp/contact/

冬の野菜で 初心者向け料理教室

■11月17日(日)10時～13時 ■対象18歳以上。高校生を除く ■内容ささみと豆腐のソーセージ、かぼちゃのチーズサラダなど ■料金1,650円

パン作り教室

■11月26日(日)10時30分～12時30分 ■対象18歳以上。高校生を除く ■内容角煮まんなど ■料金1,200円

◆ ◆ ◆
 いずれも定員は16人・先着順。申込開始は10月22日(祝)9時。申込方法は電話、ファクス。

保健

子育て無料相談

対象は就学前の乳幼児。身体計測、栄養・子育ての悩みに保健師、助産師、保育士、栄養士などが対応。申し込み不要。母子健康手帳を持参のこと。

【田主丸保健センター】■11月5日(火)13時30分～15時

◎田主丸総合支所市民福祉課
 (☎ 0943・72・2113、FAX 0943・72・3819)

【本庁舎2階くろみホール】■11月18日(月)9時30分～11時

◎こども子育てサポートセンター
 (☎ 30・9302、FAX 30・9718)

ママパパ心の悩み相談

■11月22日(金)13時15分～17時 ■保健所 ■対象妊娠中、子育て中で疲れやすい、眠れないなどの症状がある人 ■内容臨床心理士、心理相談員が対応 ■料金無料 ■申込方法申込先に連絡

◎こども子育てサポートセンター
 (☎ 30・9731、FAX 30・9718)

福祉

認知症介護電話相談

■10月22日から11月19日までの火曜。各13時30分～16時30分 ■内容日常生活、在宅介護の悩みなどに介護経験者が対応

◎長寿支援課
 (☎ 30・9207、FAX 36・6845)

身体障害のある人のための 無料相談

■11月6日(火)、13日(水)、20日(火)。各13時～16時 ■総合福祉会館 ■内容身体障害者手帳の取得方法など

■申し込み不要

◎障害者福祉課
 (☎ 30・9035、FAX 30・9752)

ボウリング大会

■12月1日(日)9時30分～14時 ■楽市楽座210久留米店 ■対象障害のある人 ■内容障害種別ごとに競技

■料金無料 ■定員150人・先着順

■申込期間10月22日(祝)10時～11月12日(火)

◎市身体障害者福祉協会
 (☎ 39・2666、FAX 38・9290)

お誘い

久留米室内管弦楽団 定期演奏会

■10月26日(土)18時30分～20時30分 ■石橋文化ホール ■内容バッハ「ブランデンブルク協奏曲第4番」、シューベルト「死と乙女」など ■料金1,000円。高校生以下500円。チケットは石橋文化センター、情報サテライトなどで販売

◎同楽団の吉田さん
 (☎ 090・1513・4585、FAX 38・8472)

くるめ日曜日

■10月27日(日)、11月24日(日)。各9時～15時 ■東町明治通り商店街 ■内容地元農産品や加工品、工芸品の販売。10月は秋の収穫祭、11月はろくろ体験あり

◎NPO法人くるめ日曜市の会
 (☎ FAX 39・3617)

検査と健康展 in 福岡

■10月27日(日)10時～16時 ■シティプラザ 六角堂広場 ■内容血管エコー検査体験コーナー、検査結果の見方など ■料金無料 ■申し込み不要

◎県臨床衛生検査技師会
 筑後地区事務局 (☎ 35・3322、☎ kenichi-ichimura@st-mary-med.or.jp)

久留米工業大学 秋季公開講座

■11月2日(日)①13時～14時30分、②15時～16時30分、9日(土)③13時～14時30分、④15時～16時30分 ■内容①航空機整備 ②最新の宇宙輸送システム ③超高齢社会を変えるスマートモビリティサービス ④重度障害者の意思伝達支援装置の導入支援 ■料金無料 ■定員各30人・先着順 ■申込開始10月23日(火)8時30分 ■申込方法氏名、年齢、電話

番号を連絡
 ◎同大学総務課
 (☎ 22・2345、FAX 21・8770、✉ somukikaku@kurume-it.ac.jp)

身体拘束を考える講演会

■10月27日(日)13時30分～16時 ■本庁舎2階くろみホール ■内容講演「身体拘束のゼロを目指して」(講師＝杏林大学教授・長谷川利夫氏) ■料金無料 ■申し込み不要

◎NPO法人久留米出逢いの会
 オープンスペースゆるか
 (☎ FAX 27・6778、✉ deainokai@yahoo.co.jp)

草野まちかど博物館

■11月2日(土)、3日(日)。各10時～16時 ■草野町一帯 ■内容古民家や庭園を無料開放。地元ガイドのほとめき歩き、つばき油の天ぶらの試食会など。総合案内所を世界のつばき館に設置 ■料金無料 ■申し込み不要

JR・西鉄久留米駅と会場をつなぐ無料シャトルバスを運行
 ◎同実行委員会 (☎ FAX 47・0002)



アルコール問題の自助グループ

いずれも対象はアルコール問題で悩んでいる人。アルコール依存症から回復した人などとの座談会。料金

は無料。申し込み不要。

【AA福岡地区久留米グループ】■11月2日から12月14日までの土曜。各10時～12時。祝日を除く ■えーるピア久留米。12月開催分は問い合わせ先に確認のこと

◎同グループの田中さん
 (☎ 080・5258・1204、✉ jfkmt@yahoo.co.jp)

【久留米市断酒会】■11月6日から12月11日までの水曜。各19時～21時 ■えーるピア久留米

◎同会の野田さん
 (☎ 52・3839、FAX 52・0547)

【久留米断酒友の会】①11月8日(金)、22日(金)、12月13日(金)。各19時～21時。②11月9日(土)、12月14日(土)。各13時～15時 ■①みんくる ②えーるピア久留米

◎同会の中尾さん
 (☎ 080・5211・9122、FAX 39・3994)

聖マリア病院 がんサロン

■11月2日(土)14時～16時 ■対象がん患者・家族など ■内容講話「自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて」 ■料金無料 ■申し込み不要

◎同病院がん相談・診療支援センター
 (☎ 35・3322、FAX 34・6008)

田主丸かっぱウォーク

■11月3日(日)9時50分～。受け付けは9時～ ■県緑化センター集合 ■内容山苞の道を巡る約7・10kmの2コース ■料金300円。小学生150円。未就学児は無料 ■申し込み不要

◎同実行委員会
 (田主丸総合支所市民福祉課内、☎ 0943・72・2112、FAX 0943・72・3819)

バレエリサイタル シンデレラ

■11月4日(日)13時～16時、18時～21時 ■シティプラザ ザ・グランドホール ■料金S席6,000円。A席5,000円。B席4,000円。チケットは問い合わせ先で販売

◎フジタバレエ研究所の藤田さん
 (☎ FAX 38・1483)

初めてのパソコン講座

■11月7日から28日までの木曜10時～12時 ■府中公民館、シニアネット久留米 ■対象市内か近郊に住んでいる人 ■内容パソコン・タブレット端末の基礎、インターネット、メール ■料金2,900円 ■申込締切10月31日(日)

◎NPO法人シニアネット久留米
 (☎ FAX 65・4545)

映画上映会

■11月8日(日)11時～、14時～、19時～ ■えーるピア久留米 ■内容2018年日本映画「万引き家族」 ■料金1,100円。高校生以下800円。当日は200円増し。チケットは10月22日(祝)9時から石橋文化センター、情報サテライト、ブックスあんとくみずま店、喫茶ばんごろ、さわ鍼灸院で販売

◎映画を観る会くるめ稲の花の野田さん (☎ 090・5293・2205、FAX 34・7213)

聖マリア学院大学 市民公開講座

■11月9日(日)13時30分～15時 ■内容講演「いのちの旅」(講師＝浄水通・茶山協会協働司祭・李韓雄氏) ■料金無料 ■定員70人・先着順 ■申込開始10月23日(火)9時

◎同大学地域貢献センター
 (☎ 35・7271、FAX 34・9125、✉ koukai@st-mary.ac.jp)

直葬

12

(税別)

プラン一式

万円

・棺・御骨壺・枕飾り
 ・役所手続き代行
 ・ドライアイス
 ・寝台車・霊柩車
 ・直葬センター安置料(あずかり料)1泊2日

久留米直葬センター

福岡県久留米市本町230-2 (ときの風久留米中央斎場内)

24時間受付

0942-46-0984

他社会員の方もお気軽に電話ください。

サンライフ久留米

☎ 33・4425、FAX 33・4431
☐ sunlife@onyx.ocn.ne.jp

文化祭

■10月26日(出)9時～17時、27日(日)9時～16時 ■内容サークル作品の展示や販売、絵手紙やミニ盆栽の体験、青空青果市場など

児童センター

☎ 35・3809、FAX 35・3835
☐ jidou@piif.k-ikigaikenko.jp

10月生まれの誕生会

■10月30日(日)10時30分～11時30分 ■対象未就学児と保護者

センターで遊ぼう

■11月6日(火)、20日(火)。各16時～16時30分 ■対象未就学児と保護者、小学生 ■内容シーツ遊び、大型絵本、エプロンシアターなど

絵本の読み聞かせ

■11月8日(木)10時30分～11時30分 ■対象未就学児と保護者

学習会

赤ちゃんと離乳食

■11月14日(水)10時30分～11時30分 ■対象0歳児と保護者 ■内容栄養士の講話「離乳食の基本と進め方」

◆ ◆ ◆
いずれも料金は無料。申し込み不要。

小学生遊びタイム

■11月2日(出)、16日(出)。各14時～15時 ■対象小学生 ■内容カードめぐりゲーム、大型トランプなど

ふるさとみづま祭

11月2日(出)、3日(日)に水沼の里2000年記念の森で開催します。今年の注目は同時開催する「8歳の日本酒とうまかもん市」。三瀧町と周辺の酒蔵の日本酒と、おつまみなどが並びます。YOSAKOI みづまや、子どもたちによるステージ、特産品を販売する「ちっこへその市」なども例年にぎわっています。

■2日(出)10時～18時、3日(日)9時30分～19時 ■主なステージ2日・高山竜一歌謡ショー、スタジオMJ×くるっばダンスショー。3日・あんみつ姫ショーなど

☎ 同実行委員会事務局

(三瀧総合支所産業振興課内、☎ 64・2315、FAX 65・0957)

紙皿迷路作り

■11月9日(出)14時～15時 ■対象小学生

プレリーダー養成講座

■11月16日(出)14時～15時30分 ■対象18歳以上で子ども向けの活動をしたい人。高校生を除く ■内容子どもの遊び、レクリエーションの実践と講話

拳玉教室

■11月17日(日)10時30分～12時 ■対象小学生

遊び広場

■11月23日(日)10時30分～12時 ■対象小学生 ■内容割り箸ゴム銃作り、室内グラウンドゴルフ

◆ ◆ ◆
いずれも料金は無料。定員は各20人・先着順。申込開始は10月22日(日)10時。申込方法は電話、ファクス、メール、市ホームページ。

山辺道文化館

☎ FAX 47・3015
☐ yamabel@ktarn.or.jp

透明水彩絵の具の水彩画展

■11月1日(金)から24日(日)までの10時～17時。24日は15時まで ■内容静物・人物・風景画約25点展示 ■料金無料

地場産くるめ

☎ 44・3700、FAX 43・1020
☐ info@jibasankurume.jp

緋の薬手帳 & 保険証入れ作り

■11月11日(日)10時～、13時30分～ ■料金900円 ■定員各25人・抽選

■申込締切 11月4日(休) ■申込方法電話、ファクス

くるるん

☎ 34・5571、FAX 34・5572
☐ kururun@ktarn.or.jp

クリスマスの飾り作り

■11月23日(日)11時～12時 ■対象未就学児と保護者

助産師・栄養士の 子育て健康無料相談

■11月27日(火)10時30分～12時。受け付けは11時15分まで ■対象妊娠中の人、未就学児を持つ保護者 ■内容妊娠中、育児中の悩みに対応

◆ ◆ ◆
いずれも料金は無料。申し込み不要。

離乳食無料相談

■11月8日(金)①前期・中期10時30分～11時15分、②後期・完了期11時15分～12時 ■対象4カ月児～1歳6カ月の保護者 ■定員各10人・先着順 ■申込開始11月1日(金)10時

子育てセミナー

■11月19日(水)10時30分～12時30分 ■内容管理栄養士の講話「イヤイヤ期の食育講座」 ■対象未就学児の保護者 ■定員20人・抽選 ■申込締切11月12日(火)。託児あり

◆ ◆ ◆
いずれも料金は無料。申込方法は電話、ファクス。

ふれあい農業公園

☎ 47・6065、FAX 47・6068
☐ agri@city.kurume.fukuoka.jp

秋穫フェアの イベント参加者を募集

11月17日(日)に開催するみどりの里・秋穫フェアのイベント参加者を募集します。申込締切は11月3日(日)。

【キャンプ】■11月16日(出)10時から17日(日)16時まで。1泊2日 ■料金無料 ■定員18組・抽選。テント

の無料貸し出しあり、7張・抽選
【フリーマーケット出店】■10時～15時 ■販売品日用雑貨、衣類、おもちゃなど。飲食物、販売業者を除く ■料金無料 ■定数30区画・抽選
【クリスマスリース作り】■10時～12時 ■料金1,000円 ■定員20人・抽選

【しめ縄作り】■13時～15時 ■料金800円 ■定員20人・抽選

サツマイモ収穫体験

■11月9日(出)10時～12時 ■料金1組1,000円。持ち帰りあり ■定員20組・抽選 ■申込締切10月30日(火)

◆ ◆ ◆
いずれも申込方法は電話、ファクス、はがき(☎ 839・0836 草野町吉木33)。

三瀧図書館

☎ 64・6010、FAX 64・6006

古本市

■11月2日(出)、3日(日)。各10時～14時 ■内容1人20冊まで無料配布 ■申し込み不要。事故、混雑防止のため入場・時間制限あり。9時から配布する整理券が必要

三瀧生涯学習センター

☎ 64・3020、FAX 64・4687
☐ m-bunka@city.kurume.fukuoka.jp

みづまの歴史 古墳時代～鎌倉時代

■11月24日(日)10時～11時30分 ■内容講話「遺跡と発掘調査について」 ■料金無料 ■定員50人・先着順 ■申込開始10月23日(火)9時。託児の申込締切は開催日の10日前

手書きで年賀状教室

■11月15日(日)13時30分～15時 ■内容筆ペン・ボールペンでの文字の書き方 ■料金無料 ■定員15人・抽選 ■申込締切11月1日(金)

千支・ネズミの 消しゴムはんこ作り

■11月30日(出)13時～15時 ■料金200円 ■定員15人・抽選 ■申込締切11月15日(金)

◆ ◆ ◆
いずれも申込方法は電話、ファクス。託児あり。

ゆうゆう

☎ 65・1200、FAX 65・1219
☐ http://www.heartful-volunteer.net/contact/index

健康体操講座

■①11月5日(火)、19日(火)9時45分～11時、②11月10日(日)10時～11時30分 ■料金1回210円 ■定員各30人・先着順 ■申込開始10月23日(火)10時

健康づくり教室

■11月20日(水)13時20分～14時50分 ■内容薬剤師の睡眠の話、副交感神経を高めるリラックス体操 ■料金無料 ■定員30人・先着順 ■申込開始10月22日(火)10時

◆ ◆ ◆
いずれも申込方法は電話、ファクス。

無料育児相談

■10月24日(火)10時～11時30分 ■対象乳幼児と保護者 ■料金無料 ■申し込み不要

介護予防フェスタ

■10月27日(日)9時30分～12時

30分 ■内容体験・測定・相談コーナー、講演、自主グループの活動発表など ■申し込み不要

みづま総合体育館

☎ 65・1115、FAX 65・1160
☐ miduma@shinko-sports.com

城島バドミントン体験

■10月28日(日)18時～19時30分 ■城島体育館 ■対象小学生 ■料金無料 ■定員5人・先着順 ■申込期間10月22日(火)9時～28日(日) ■申込方法電話、ファクス

城島ふれあいセンター

☎ 62・6226、FAX 62・6688
☐ j-kyouik@city.kurume.fukuoka.jp

時短のおつまみ講座

■11月23日(日)、30日(日)10時～12時 ■内容チキン麵つゆマヨ、牛スジ煮込み ■料金1回500円 ■定員15人・抽選 ■申込締切11月8日(金)

親子で

クリスマスケーキ作り教室

■12月7日(日)10時～13時 ■対象小・中学生と保護者 ■料金1,500円 ■定員15組・抽選 ■申込締切11月21日(火)

◆ ◆ ◆
いずれも申込方法は住所、氏名、年齢、連絡先を連絡。

天文台

☎ 62・6226、FAX 62・6688
☐ j-kyouik@city.kurume.fukuoka.jp

無料観望会

■11月2日(出)・月、9日(出)・二重星団、16日(出)・M31。各19時～20時30分 ■申し込み不要

外壁塗装安心パック (シリコン樹脂)
基本工事費 込価格 **33坪 75万円** (税抜)
①足場・ネット養生 ②高圧洗浄 ③ひび割れ補修
④塗装(外壁・軒天井・雨樋・水切り鉄板・庇鉄板・フード・雨戸・戸袋・扉板)
⑤産業廃棄物運搬処理 ※産業廃棄物運搬処理の許可を持っている業者と提携しております。

「適正な外壁塗装」「適正な価格」でお悩みの方、当社が解決致します!
見積無料 まずはお気軽にご相談を/
(株)マツダペイント
〒839-0801 福岡県久留米市宮ノ陣2丁目2-10
0120-27-1116
☎ 0942-30-5891 営業時間:10時-19時 定休日:日曜日

平成29年度 久留米市 優良施工業者として表彰を受けました!



段ボールコンポスト講習会

11月19日(火)14時～ 城島総合支所 対象市内に住んでいる人 料金無料 定員20人・先着順 申込開始10月23日(火)8時30分 申込方法住所、氏名、年齢、電話番号を連絡 資源循環推進課 (☎30・9143、FAX37・3344)

中心商店街空き店舗ツアー

10月27日(日)、30日(水)。各14時～16時 六ツ門ビル集合 内容物件見学、中心商店街の紹介、活用アドバイスなど 料金無料 定員各10人・先着順 申込開始10月22日(金)9時 申込方法ファクス、メール ④ハイマート久留米 (☎37・7111、FAX37・7955、info@highmart-kurume.co.jp)

発達育児支援教室

11月28日(木)、12月12日(水)9時45分～12時 三瀬生涯学習センター 対象落ち着きがない、かんしゃくがひどいなど、発達が気になる就学前の子どもの保護者 内容講話「発

達の気になるお子さんへの関わり方」 料金無料 申込期間10月21日(月)～11月14日(水)。託児は申込先に連絡 ④こども子育てサポートセンター (☎30・9731、FAX30・9718)

保育士就職支援セミナー

11月30日(土)13時～15時 本庁舎3階会議室 対象保育士資格を持つ人など 内容保育園などの仕事の現状と経験談、保育の実技、就職相談・あっせんなど 料金無料 定員36人・抽選 申込締切11月26日(水)。申込書は申込先、子ども保育課、各総合支所地域振興課、各市民センター、市ホームページなどに準備。託児は申込先に連絡 ④保育士・保育所支援センター (☎30・7234、FAX30・9718)

サンタクロース訪問家庭募集

12月22日(日)18時～21時・1世帯10分 対象3歳～未就学児がいる家庭 内容家庭で用意したプレゼントを届ける。事前の家庭訪問あり 料金無料 定員5世帯・選考 申

込締切10月28日(月)(必着)。申込書は市ホームページに準備 ④生涯学習推進課 (☎30・7970、FAX30・7971)

グリーンスクール

11月30日(土)14時30分～ 本庁舎2階くろみホール 対象市内に住んでいるか、通勤している人。12歳以下の子どもの同伴可 内容クリスマスをテーマにした寄せ植え作り。「花と緑のまちづくり」の取り組み紹介 料金1,000円 定員35人・抽選 申込締切11月15日(金)(必着) 申込方法住所、氏名・ふりがな、年齢、電話番号をはがき、ファクスで連絡 ④都市公園管理センター (☎830・0027 長門石1の15の15、☎34・1664、FAX34・1719)

シティプラザ

☎36・3000、FAX36・3087
http://kurumecityplaza.jp/pages/ticket

3歳からの始まりの音楽会

来年1月5日(日)11時～ ザ・グ

ランドホール 対象3歳以上 内容サクソフォーン四重奏で「G線上のアリア」「パプリカ」など 料金1,500円。中学・高校生1,000円。小学生以下500円。チケットは10月26日(土)10時からシティプラザ窓口・ホームページで販売

男女平等推進センター

☎30・7800、FAX30・7811
danjo-c@city.kurume.fukuoka.jp

無料上映会

11月15日(金)14時～16時15分 内容2009年ドイツ・オーストリア・フランス映画「デザート・フラワー」 定員100人・当日先着順。託児の申込締切は開催日の5日前

生涯学習センター

☎30・7900、FAX30・7911
elpia@piif.k-ikigaikenko.jp

シニアカレッジ 公開セミナー

11月19日(火)10時30分～12時 内容講演「声のアンチエイジング」(講師=ボイスエアー代表・藤重知子氏) 料金無料 定員70人・抽選

公開講座

①11月20日(水)、②12月3日(水)。各10時～12時 内容講話①「脆ってなくても要注意」、②「私たちの『食』が問いかけるもの」 料金無料 定員各72人・抽選。託児あり

歴史入門講座

11月24日(日)、12月1日(日)、8日(日)10時～12時 内容テーマ「筑後の歴史と信仰の象徴 高良山」 料金無料 定員72人・抽選。託児あり

着物の着付け講座

11月27日(水)、28日(木)19時～21時 対象女性 料金無料 定員15人・抽選。託児あり

手作りパン講座

12月2日から23日までの月曜10時～12時30分 内容機械ごねした生地で作るクリスマスツリーパン、黒ごまパンナコッタなど 料金5,800円 定員20人・抽選。託児あり

いずれも申込締切は11月5日(火)。申込方法は電話、ファクス、メール、市ホームページ。託児は申込先に連絡。

消費生活センター

☎30・7700、FAX30・7715
shouhi@city.kurume.fukuoka.jp

暮らしのカレッジ

11月14日(水)10時～11時30分 内容生命保険の基礎知識 料金無料 定員40人・抽選 申込締切11月6日(水) 申込方法電話、ファクス、電子申請

環境交流プラザ

☎27・5371、FAX27・5443
myjclean@city.kurume.fukuoka.jp

香りでベビーマッサージ講座

11月12日(水)10時～11時 対象2カ月以上の0歳児と保護者 料金400円。オイルの持ち帰りあり 定員10組・抽選 申込締切11月1日(金) 申込方法電話、ファクス、メール、はがき(☎839・0805 宮ノ陣町八丁島2225)。6カ月以上の未就学児の託児あり

筑邦市民センター多目的棟

☎27・4210、FAX26・1246
chiku-tamoku@ktarn.or.jp

カレッジ講座

11月17日(日)10時30分～12時 内容講話「広報くろめ制作の舞台裏に迫る」 料金無料 定員20人・先着順 申込開始10月22日(金)9時30分 申込方法電話、ファクス

耳納市民センター多目的棟

☎47・0995、FAX47・0994
minou-tamoku@ktarn.or.jp

夜のハロウィーンお楽しみ会

10月26日(土)18時～19時30分。受け付けは18時～ 対象小学生以下と保護者 内容夜の多目的棟探検、菓子の配布など。仮装無しで参加可 料金無料 定員30人・当日先着順

カレッジ講座

11月24日(日)10時30分～12時 内容講話「広報くろめ制作の舞台裏に迫る」 料金無料 定員15人・先着順 申込開始10月22日(金)9時30分 申込方法電話、ファクス

サイクルファミリーパーク

☎45・5656、FAX45・8511
kurumecfp@gmail.com

サイクルフェスタ

11月17日(日)9時～16時30分 内容ゲーム大会、マウンテンバイク教室、体験乗馬など 料金200円、中学生以下無料。自転車などの利用料金は別途必要

市民相談のご案内(11月分)

市は各種無料相談を行っています。★印の付いた相談は、前日までに申し込みが必要。なお、法律相談は10月23日(火)8時30分から予約を受け付けます。また、下記の日程以外にも、希望する日時に無料で弁護士の相談が受けられる、チケット法律相談を行っています。

④広聴・相談課 (☎30・9017、FAX30・9711)

●本庁舎6階

市政・一般	8:30～17:15	平日
★法律相談	13:00～15:30	6日(水) 13日(水) 27日(水)
★公証業務相談	13:00～15:00	20日(水)
★司法書士相談	13:00～16:00	14日(水)
★建築相談	13:00～16:00	7日(水)
★税理士相談	13:00～16:00	1日(金)
不動産相談	13:00～16:00	11日(月) 25日(月)
行政相談	13:00～16:00	8日(金)
人権相談	13:00～16:00	15日(金)
行政書士相談	10:00～15:00	5日(水)
社会保険労務士相談	10:00～15:00	1日(金)
交通事故相談	10:00～15:00	12日(水) 26日(水)

●総合支所

	田主丸	北野	城島	三瀬
★一般相談 10:00～16:00	21日(水)	7日(水)	28日(水)	14日(水)
★法律相談 13:30～15:10	1日(金)	18日(月)	14日(水)	26日(水)
行政相談 13:00～16:00	8日(金)			
人権相談 13:00～16:00	15日(金)	—	15日(金)	—

●市民センター

	耳納	筑邦	上津	千歳	高牟礼
★一般相談 10:00～16:00	12日(水)	19日(水)	29日(金)	26日(水)	5日(水)
★法律相談 14:00～15:40	—	—	—	20日(水)	—
行政相談 13:00～16:00	—	—	8日(金)	—	—
人権相談 13:00～16:00	15日(金)	—	—	—	—



久留米から山鹿・平山温泉まで一直線。 高速バス「山鹿探訪エクスプレス」 2019年11月1日から運行開始! 山鹿探訪ナビサイト

【運行会社】西鉄バス久留米株式会社
木・金・土曜 片道 1,500円 運行
2枚綴り往復乗車券2,700円 4枚綴り回数券4,800円

市役所の郵便番号(〒830・8520)は、市役所専用です。郵便番号を記入すれば、住所を書く必要はありません

「広報くるめ」は古紙を配合した再生紙を使用しています
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

プレミアム付き商品券 先着順で2次販売

■10月28日(月)9時～ ■久留米商工会館 ■対象今年度の販売で10万円分購入していない人 ■内容来年2月3日(月)まで約700店舗で利用できる、10%の特典付き商品券。本人確認できる物を持参のこと
☎久留米商工会議所
(☎33・0212、FAX 33・0933)

シティプラザ 臨時休館

11月18日(月)、19日(火)は設備保守点検のため、休館します。六角堂広場、駐車場も利用できません。
☎同プラザ
(☎36・3000、FAX 36・3087)

ゆうゆう臨時閉館

10月27日(日)は介護予防フェスタ開催のため施設の利用ができません。
☎ゆうゆう
(☎65・1200、FAX 65・1219)

相談

消費生活無料法律相談

■11月6日(火)、20日(火)。各13時～15時30分 ■えーるピア久留米 ■対象市内に住んでいる人 ■内容多重債務・悪質商法などの悩みに弁護士が対応 ■申込方法申込先に連絡
☎消費生活センター
(☎30・7700、FAX 30・7715)

女性のための相談

【総合・性暴力相談】■月～水・金・

土曜10時～18時、木曜17時～20時、日曜10時～17時 ■内容DV、夫婦問題、性被害、職場での悩みなどに電話、面接で女性相談員が対応

【無料法律相談】■11月14日(火)、28日(火)、各14時～15時30分。11月21日(火)17時30分～19時

■内容夫婦問題などの悩みに面接で女性弁護士が対応
いずれも会場はえーるピア久留米。面接相談は申込先に電話で連絡。託児・手話通訳の申込締切は相談日の5日前。

☎男女平等推進センター
(☎30・7802、FAX 30・7811)

行政書士 暮らしの無料相談

■11月1日(金)、12月6日(金)10時30分～13時30分・みんくる。11月12日(火)13時30分～15時30分・田主丸総合支所。11月21日(火)13時30分～15時30分・北野生涯学習センター。12月19日(火)13時～15時30分・ゆうゆう ■内容相続、遺言、成年後見などの悩みに対応 ■申し込み不要
☎県行政書士会くるめ支部の室園さん
(☎65・9559、FAX 65・9554)

日曜労働相談

■11月10日(日)10時～18時。受け付けは17時30分まで ■筑後労働者支援事務所 ■内容賃金未払い、パワハラなどの悩みに電話、面談で対応。相談内容により弁護士と連携 ■申し込み不要
☎同事務所
(☎30・1034、FAX 30・1025)

催し

装飾古墳を同時公開

■10月26日(土)10時～16時 ■久留米市・下馬場古墳、浦山古墳。朝倉市・狐塚古墳。うきは市・楠名古墳、塚花塚古墳、重定古墳。小郡市・花立山穴観音古墳。筑前町・仙道古墳 ■内容筑後川流域の、非公開を含めた装飾古墳を公開 ■料金無料 ■申し込み不要

☎文化財保護課
(☎30・9225、FAX 30・9714)



ちびっ子防火スケッチ大会

■10月27日(日)11時～15時。雨天中止 ■東町公園 ■内容スケッチ、塗り絵、ふわふわ消防車、はしご車試乗、防火服試着 ■料金無料 ■申し込み不要
☎久留米消防署警防課
(☎38・5161、FAX 32・4591)

久留米聴覚特別支援学校 文化祭・手話祭り

■11月3日(火)9時～15時 ■内容演劇ステージ発表、福岡ろう劇団・博多の劇やワークショップなど ■申し込み不要
☎同校 (☎44・2304、FAX 45・0139)

キャリアデザインセミナー

■10月28日(月)、12月10日(火)13時30分～17時 ■えーるピア久留米 ■対象県内企業などで働いている20代～40代の女性 ■料金無料 ■定員20人・先着順 ■申込開始10月22日(火) ■申込方法ホームページ
☎同事務局 (サイズラーニング内、☎092・791・5442、FAX 092・791・5471、✉info@psys.info、☎http://psys.info/wp/?p=534)

石橋文化センターの催し

【初心者向け菊講習会】■11月3日(火)13時30分～16時 ■石橋文化会館 ■内容盆栽菊、大輪菊の作り方 ■料金無料 ■定員30人・当日先着順
【ホールで団体練習】■11月23日(火)10時～21時 ■石橋文化ホール ■対象市内か近郊で活動をしている音楽・演劇・舞踊の団体や学校の部活動 ■料金1時間2,000円 ■定員5団体・先着順 ■申込期間10月26日(土)9時～11月16日(日)
☎石橋文化センター
(☎33・2271、FAX 39・7837)

E ボート体験会

■11月4日(水)9時～12時、13時～16時 ■筑後川漕艇場 ■対象小学生以上。中学生以下は保護者同伴のこと ■内容ボートの組み立て、解体も体験 ■料金300円 ■申込締切10月28日(月)。申込書は市ホームページに準備
☎体育スポーツ課
(☎30・9226、FAX 38・2259)

家族介護教室

【介護技術講座】■11月9日(土)10時～12時 ■シティプラザ 会議室 ■内容介助する時の体の使い方や福祉

用具の使い方など
【認知症ケア講座】■11月14日(火)18時30分～20時30分 ■本庁舎3階会議室 ■内容基礎知識、接し方、家族としての関わり方など
いずれも料金は無料。定員は各15人・先着順。申込期間は10月22日(火)10時～28日(月)。
☎市介護福祉サービス事業者協議会
(☎35・1525、FAX 46・5841)

くるめ福祉みらい博

■11月9日(土)10時～16時 ■シティプラザ ■内容福祉用具・医療機器などの展示、健康チェック、就労支援事業所の物品販売など
【上映会&トークショー】■10時～13時 ■久留米座 ■内容2017年日本映画「ケアニン」の上映、同映画のモデルとなった介護施設おおいけあ代表・加藤忠相氏のトーク
【講演会】■14時～15時30分。開場は13時～ ■ザ・グランドホール ■内容講演「母の介護をとおして」(講師=ジャズシンガー・綾戸智恵氏)
いずれも料金は無料。申し込み不要。
☎市介護福祉サービス事業者協議会
(☎35・1525、FAX 46・5841)



健康くるめ21 フェスタ 無料女性がん検診

■11月10日(日)10時～11時30分、13時～14時 ■えーるピア久留米 ■対

象市内に住んでいる①20歳以上、②40歳以上の女性。今年度の無料クーポン対象者を除く ■内容①子宮頸がん ②乳がん ■定員各63人・先着順 ■申込期間10月23日(火)9時～28日(月)
☎くるめけんしんダイヤル
(☎0120・900・072、FAX 30・9833)

ワードで年賀状講座

■11月13日から27日までの水曜10時～12時、13時～15時 ■シルバー人材センター ■対象パソコンを持参できる人 ■料金教材代など3,900円 ■定員各10人・抽選 ■申込締切11月8日(金)
☎同センター
(☎35・5229、FAX 35・5974)

パープルリボンマルシェ

■11月14日(火)10時～15時 ■本庁舎1階ロビー ■内容市内で女性の自立支援やスキルアップなどの活動を行っている団体のバザー。久留米絹のパープルリボン、小物、野菜、パンなどを販売
☎男女平等政策課
(☎30・9044、FAX 30・9703)

くるめ環境講座

■11月17日(日)10時～11時30分 ■宮ノ陣クリーンセンター 環境交流プラザ ■内容講演「地球温暖化と私たちの暮らし」(講師=環境カウンセラー・林真実氏)。エコグッズプレゼントあり ■料金無料 ■定員50人・抽選 ■申込締切11月11日(月) ■申込方法住所、氏名、電話番号をファクス、メール、はがきで連絡
☎環境政策課 (☎830・0042 荘島町375、☎30・9146、FAX 30・9715、✉kansei@city.kurume.fukuoka.jp)

広報クイズ

正解者の中から抽選で5人に図書カードを差し上げます。



6～7ページに関連の記事があります

マルチ〇〇〇機

来年1月からマイナンバーカードを使って、住民票の写しなどを取れるようになるのは、何がある店舗に限られているでしょう。〇にカタカナを入れてください。

前回の答え → 10.8

【申込締切】11月5日(火)(必着)
【申込方法】答え、住所、氏名、年齢、電話番号、紙面への要望や意見をはがき、電子メールで連絡。複数の応募は不可。なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます
☎広報戦略課
(☎830・8520 住所記入不要、✉kouhou@city.kurume.fukuoka.jp)



MARU-SIN
INTERNATIONAL
HOIKU-EN

企業主導型保育施設

丸信インターナショナル保育園

園児募集

丸信従業員以外の方の募集を始めました

英語教育 病児保育 延長保育 一時預り

オールイングリッシュタイムがあります!

★園児増員につき保育士も募集しております。英語初心者も大歓迎!

●お気軽にご相談ください

0942-43-3771

〒839-0812 福岡県久留米市山川安居野3丁目6-10

【広告】

MARU-SIN 株式会社丸信 が取り組んでいる内閣府主導の「企業主導型保育事業」です。

これ、筑田、てる!?! [12]

《最初の鉄道は筑後川を渡れなかった?》

明治 22 年に九州初の鉄道として博多 - 久留米間が開通する予定でした。しかしこの年、筑後川三大水害に数えられる大洪水が発生。筑後川鉄橋の建設が開通間に合いませんでした。そのため、対岸に仮の停車場を設けて運行を開始しました。翌年 3 月ようやく久留米まで開通。苦難を乗り越えた出発でした。



情報ほっとライン

このコーナーでは、市からのお知らせや、催しなどを紹介します

ひとの動き

【令和元年 10 月 1 日現在】

- 人口 305,070 人(前月比 62 人増、前年同月比 879 人減)
- 男 144,742 人・女 160,328 人
- 世帯数 135,715 世帯(前月比 149 世帯増、前年同月比 1,119 世帯増)

お知らせ

今月の納付 (10 月分)

【口座振替・納付書】 ■市・県民税・第 3 期分 ■国民健康保険料、介護保険料・第 5 期分 ■後期高齢者医療保険料・第 4 期分 ■納期限 10 月 31 日(木)

納付には、便利で安心な口座振替を利用してください。

海区漁業調整委員 選挙人名簿を公開

■10 月 20 日(日)から 11 月 3 日(木)までの 8 時 30 分～17 時 ■平日・選挙管理委員会事務局、三潴・城島総合支所地域振興課。休日・本庁舎 1 階夜間休日受付窓口。名簿に異議が

ある場合は、期間中に印鑑を持って問い合わせ先へ

☎ 同事務局 (☎ 30-9238、FAX 30-9752)

届出保育施設・市外保育施設 利用費の払い戻しを受け付け

10 月 1 日から幼稚園や保育園などの利用料が無料になりました。認可されていない届出保育施設や一時預かり事業、市外保育施設を利用した場合は 3 カ月に 1 度払い戻しがあるので、市に請求してください。対象は市内に住んでいる 3 歳～5 歳の子どもの保護者。請求書は市ホームページに準備。

☎ 子ども保育課 (☎ 30-9754、FAX 30-9718)

来年度からの保育園などへの 入所を受け付け

■申請期間 11 月 1 日(金)～12 月 27 日(金) ■申請方法 入所したい園を選び、申請書、保育が必要なことを証明する書類、母子健康手帳、世帯全員分のマイナンバーカードか通知カード、本人確認できる物を子ども

保育課、各総合支所市民福祉課に持参。子どもの面接あり。申請書や園の一覧などは申込先、各園、市ホームページに準備。個別見学可。締め切り以降に保育が必要になった場合などは、来年 2 月 28 日(金)まで受け付け。3 歳以上で、幼稚園や認定こども園の入園を希望する人は各園へ。申込書などは各園に準備

☎ 子ども保育課 (☎ 30-9025、FAX 30-9718)

本庁舎エスカレーター改修

11 月 2 日(土)から来年 3 月 31 日(火)まで、本庁舎の 1 階と地下 1 階をつなぐエスカレーターを改修します。期間中はエレベーターか階段を利用してください。

☎ 設備課 (☎ 30-9233、FAX 30-9707)

新年賀詞交換会

■来年 1 月 7 日(火) 11 時～ ■ホテルニュープラザ久留米 ■料金 1,200 円 ■申込期間 10 月 25 日(金)～11 月 8 日(金) ☎ 同事務局(秘書室内、☎ 30-9105、FAX 30-9701)